

2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 1 月 21 日作成)

| | | | |
|------------------------------|---|--|-------------------------------|
| 小委員会名 | 火災安全設計小委員会 | | 主 査 名：萩原一郎 就任年月：2005 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 防火委員会 | | 委員長名：室崎益輝 主 査 名：萩原 一郎 |
| 設 置 期 間 | 2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月 | | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | 建築物の火災安全を確保するために、工学的な手法を用いて設計するための基本原則や手順などをまとめる。 ・初年度： 火災安全設計の実務における問題点の抽出。 ・2 年度： 火災安全設計の基本原則の検討。 ・3 年度： 「火災安全設計の原則(仮称)」の原稿作成。 ・4 年度： 出版及び講習会の開催。 | | |
| 委員構成 (委員名(所属)) | 委員公募の有無：なし 萩原一郎(建築研究所) 野竹宏彰(清水建設設計本部) 大宮喜文(東京理科大学) 原田和典(京都大学) 北後明彦(神戸大学) 松山賢、海老原学(東京理科大学総合研究所) 山口純一(大林組技術研究所) 峯岸良和(竹中工務店設計本部) 中村三智之(NTT ファシリテーズ) 福井潔(日建設計) 富松大基(日本設計) 名取晶子(損害保険料率算出機構) 中道明子(日本建築総合試験所) | | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | 設計火災性状 WG： フェーズごとの火災性状を定量的に記述する手法の検討。 火災荷重 WG： 火災荷重とその配置によって定まる火災規模の知見から、表現方法の標準化を検討。 | | |
| 2007 年度予算 | 147,000 円 | ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/bouka/aij_bk/2/aijkassweb/frame4.htm | |

| 項 目 | 自己評価 | |
|--------------------------------|--|--------|
| 委員会開催数 | 3 回(年度内計画を含む) 火災荷重 WG：6 回 設計火災性状 WG：6 回 | |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は 除く) | 1.(書名) | |
| 講習会 | 1.(名称) | 参加者数 名 |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等) | 1.(名称) (資料名) | |
| 大会研究集会 | 1.研究協議会 (資料名) | 参加者数 名 |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | 1. | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 小委員会：実務上の問題点を踏まえ、火災安全設計の基本原則の検討を進めたが、原稿の作成までは至っていない。 火災荷重 WG：既往の可燃物調査に関する文献を収集し、調査方法の標準化および既往の調査結果の集計作業を行っている。成果の一部は、来年度の大会(OS を提案中)において発表し、討論を行う。 設計火災性状 WG：初期火災における可燃物の燃え広がりモデルの作成、可燃性内装材料の燃焼性状評価、盛期火災における火災継続時間の予測精度など、建築の火災安全設計に直接関与する火災性状予測方法についての検討を行った。成果の一部は、来年度の大会(OS を提案中)において発表し、討論を行う。 | |
| 委員会活動の問題点・課題 | 1.議論を活発に行なうため、小委員会の開催回数をもう少し増やすよう努力が必要である。 | |

